

おさかな瓦版 No.97 ハタ

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産研究・教育機構 公開日: 2024-03-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 水産研究・教育機構 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2001532">https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2001532</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.







# おさかな瓦版

No. 97  
2020.9

シリーズ：サンゴの海のいきもの 第3回

## ハタ



### ふーちゃんのピックアップ

すいさんけんきゅう きょういくきこう けんきゅうしゃ が ほん しょうかい  
水産研究・教育機構の研究者が書いた本を紹介します

かいようほごく さかな まも  
海洋保護区で魚を守る

サンゴ礁に暮らすナミハタのはなし





# ハタ ~サンゴ礁での暮らしぶり~

サンゴ礁の海に潜ると、大きな目と口をした愛嬌のある魚が、じっとこちらを見つめていることがあります。それがハタの仲間です。サンゴ礁にはさまざまな色・形・大きさのハタの仲間が暮らしています（📷1）。その姿からダイビングや水族館で人気がありますが、とてもおいしい魚としても知られていま

す。とくにサンゴ礁に囲まれた熱帯の島々では、ハタの仲間は貴重な食料とされています。

ハタの仲間は、クリクリした目玉で獲物をさがし、大きな口で一飲みにしてしまいます（📷2）。その食いしん坊ぶりはすさまじく、ときには自分の体の半分ぐらいの大きさの獲物も食べてしまいます。



アカハタ



ナミハタ



ツチホゼリ



オオアオノメアラ



スジアラ



カンモンハタ

📷1 サンゴ礁にすむハタの仲間  
このほかにもさまざまな種類があります



あんじいの  
ワンポイント  
アドバイス

あんじい：ありとあらゆることを知っているナゾのさかな仙人です

## ハタの仲間を守るとりくみ

ハタの仲間は、卵を産むために大きな群れをつくるのじゃが、実はこのときが魚たちにとって一番危ないのじゃ。人間がやってきて群れを獲ってしまうので、卵が産めず、数もどんどん減ってしまうのじゃよ。そこで、群れができる場所に人間が入れないようにして、魚たちに安心して卵を産んでもらうための取りくみが世界中で始まっておるぞ。



禁漁期間の案内ポスター  
(沖縄県水産海洋技術センター作成)



くちをあ  
口を開けたとき



くちをと  
口を閉じたとき



いぶくろなか  
胃袋の中から  
みつけた魚とカニ

📷 2 ハタの口

サンゴ礁では、サンゴがつくる物陰がハタの仲間の隠れ場所やねぐらになります。サンゴには、ハタの仲間の獲物になる小魚・カニ・エビなどもすんでいます。つまり、ハタの仲間を守るためには、サンゴも一緒に守っていくことが大切なのです(📷3)。

月と深い関係をもつ種類もいます。ハタの仲間は、卵を産むときの約束事がきっちり決まっています。満月のときだけ卵を産む種類や、半月のときだけ卵を産む種類がいます。このとき、オスとメスが一か所に集まって大きな群れをつくることもあります。このオスとメスが集まる“お見合いパーティー”は、



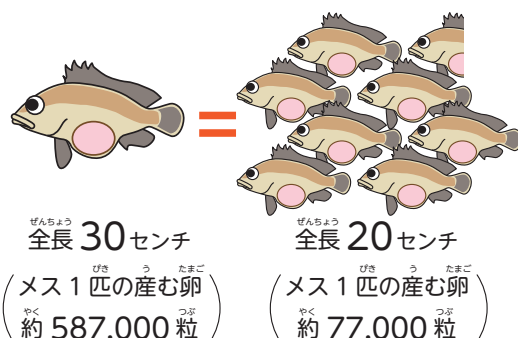
📷 3 サンゴに隠れるナミハタ(上)とユカタハタ(下)

毎年必ず同じ場所で行われます。“約束の日”に、約束された場所でお会いしよう、ハタの仲間はとても情熱的なのもかもしれませんね。(名波 敦)



子どもも大人も守ろう

ハタの仲間はけっこう長生きで、寿命は20年ぐらいです。長生きなものほど体が大きく、たくさんの卵を産むので、多くの子孫を残すことができます。ハタの仲間を守るには、体の小さい子どもだけでなく、体の大きい大人を守ることも必要なのです。そのためには、①獲り過ぎをやめる、②すみ場所を守る、③卵を産みに集まった群れを守ることが大切です。



全長 30センチのハタ1匹が産む卵の量は、全長 20センチのハタ 7.6匹の産む量と同じ





ふーちゃんのトピックス

Fuchan's Topics

ぜひ  
読んでみてね



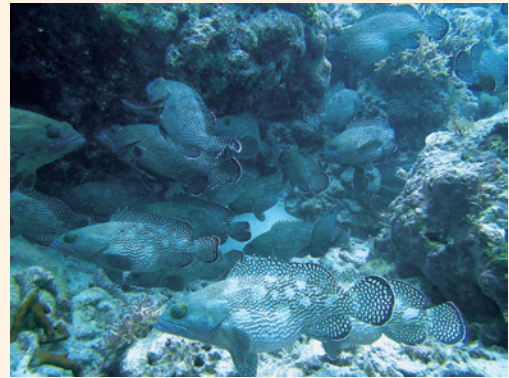
すい さん けんきゅう きょういく き こう けんきゅうしゃ か ほん しょうかい  
水産研究・教育機構の研究者が書いた本を紹介します

かい よう ほ ご く さかな まも  
海洋保護区で魚を守る  
サンゴ礁に暮らすナミハタのはなし

近年、海洋保護区で生き物を守る取り組みが世界中で注目されています。海洋保護区をつくると、ある決められた場所にすむ生き物や環境を保護できます。

この本では、海洋保護区のしくみを解説しながら、具体例としてサンゴ礁に暮らすナミハタという魚を守る取り組みを紹介しています。世界各地でみられる海洋保護区についても紹介しています。

海洋保護区で魚を守ることに、少しでもみなさんの理解が深まればうれしいです。



卵を産むために集まったナミハタ



名波 敦・太田 格・秋田 雄一・河端 雄毅[著]

海洋保護区で魚を守る サンゴ礁に暮らすナミハタのはなし

定 価：本体2,500円(税別)

判 型：A5判／238ページ

刊 行：2018年9月刊行

ISBN：9784769916260

出 版：恒星社厚生閣

以下のウェブサイトから購入できます

- 恒星社厚生閣 <http://www.kouseisha.com/book/b372548.html>
- amazon <https://www.amazon.co.jp/dp/4769916264/>



ふーちゃん



ふつくん：あんじい仙人のもとで修行している研究員です

かわらばん  
おさかな瓦版 No.97 (2020年9月発行)

編集・発行：国立研究開発法人 水産研究・教育機構

質問の送り先・お問い合わせ先：広報課

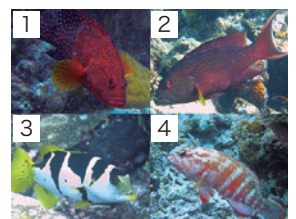
〒220-6115 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-3  
クイーンズタワーB 15階

TEL. 045-227-2600 FAX. 045-227-2702

ウェブサイト <http://www.fra.affrc.go.jp/>

さかなやエビ、カニなどの水産動物や海藻のことでわからないことがあったら、広報課までハガキを送ってね。<聞きたいことの内容>、<学年>、<住所>、<名前>を忘れずに書いてね。ふつくんが「なんでもコーナー」でお答えします。

表紙写真



1. ユカタハタ
2. オジロバラハタ
3. コクハンアラ
4. ニジハタ



水産庁の主催する魚の国のしあわせプロジェクトに参加しています

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。